

広報戦略部の

啓発活動に密着！

～安田町健康ふれあいまつり編～

日時 令和5年11月11日(土)
会場 安田町保健センター・文化センター

左上2番目 佐野氏 右端 担当理事 姫田 敬氏



広報戦略部 部長 **佐野秀平氏** に今後の意気込みを聞きました！
(海辺の杜ホスピタル)

安芸市と安田町のイベントへ参画させていただき、地域の方の健康に対する意識の高さをより実感しました。今後も地域の方の興味や関心があることを調査しながら、様々な啓発活動を企画・実施していきたいと思えます。

●安田町健康ふれあいまつりの

内容と土会の啓発内容

住民の方の健康と交流のために、様々な健康に関するブースがあり、屋外にはバスの乗り方体験教室や、飲食ができるスペースなどもありました。

土会のブースでは、フレイルチェックやミサंगा作りを通じて作業療法の啓発をされており、その他にもアンケート調査、土会グッズ・パンフレットの配布、啓発スライドの提示なども行っていました。

●地域の方の反応や部員の方の感想

参加者は、ご高齢の方やお子様と幅広く、ブースが満員になる時間帯もありました。フレイルチェックでは、握力測定と5回立ち上がりテストを実施しており、主に60～80代の方が多く、真剣に取り組まれている姿が印象的でした。担当した部員の方からは、「本気で握力や立ち座りの評価をしてくれた」「結果を年別で説明した際に喜んでいただけ、その方の状態に応じてフレイルやその予防などの説明を実施した」とお話を伺いました。

ミサंगा作りでは、作業療法の目的などが記載された資料を配布し、部員の方が丁寧に編み方の説明をしていました。特にご高齢の方やお子様が多くいらつしやり、とても集中して取り組まれ、部員や隣の席の方と関わりながら楽しんで作られていました。担当した部員の方からは、「ミサंगाを通じた治療効果を説明させていただくと、地域の方々から『そんな効果があるがや』『本当やね、すごく手も使うし集中する』と仰っていただけ、活動を通して作業療法の啓発も出来た」とお話を伺いました。



皆で楽しく
ミサंगा作りをしました。



フレイルチェックや予防に
関して説明を行いました。

安田町健康ふれあいまつりでの

取材を通じて感じたこと

地域のイベントはアットホームな雰囲気があり、来場された皆さまが積極的に参加され、楽しまれている様子が印象的でした。また、作業療法という言葉は知っていても、詳しい内容までは知らない方も多くいらつしやるため、今後も作業療法を幅広く知っていただくためにも、今回のような啓発活動の重要性を改めて実感しました。

取材・文責 広報編集部 渡邊 一規(白菊園病院)
取材同行者 広報編集部 森 祐輔(だいちリハビリテーション病院)